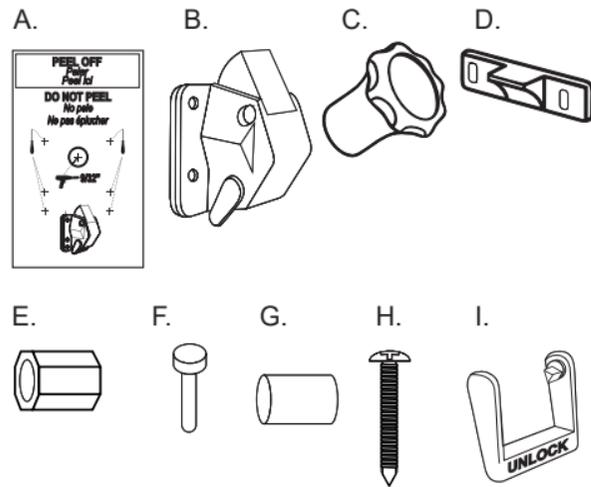
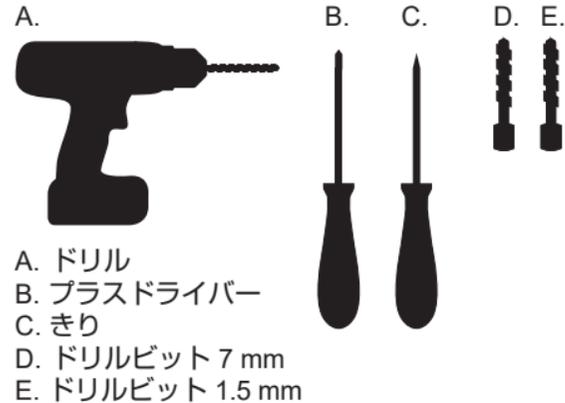


部品一覧

- A. テンプレート
- B. TOTロック
- C. TOTロックキー (別売)
- D. ストライクプレート
- E. ドリル穴深さゲージ
- F. 厚扉用付属ピン1
- G. 付属ピン2 (使用しません)
- H. なべタッピンねじST2.9x 12.7
- I. 解錠機構バー

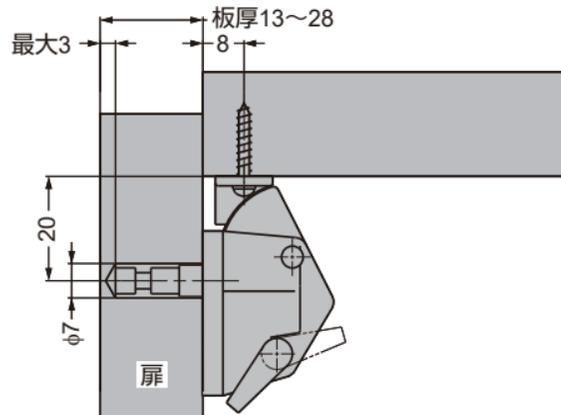


必要な工具

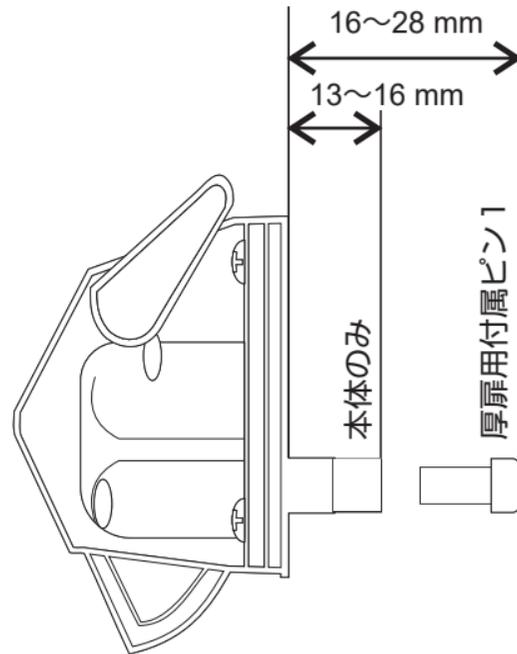


- A. ドリル
- B. プラスドライバー
- C. きり
- D. ドリルビット 7 mm
- E. ドリルビット 1.5 mm

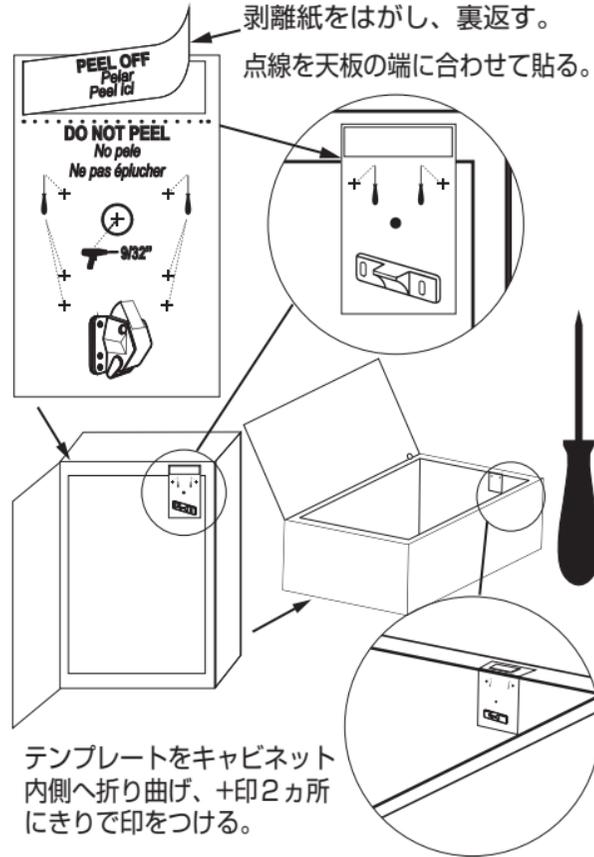
寸法図



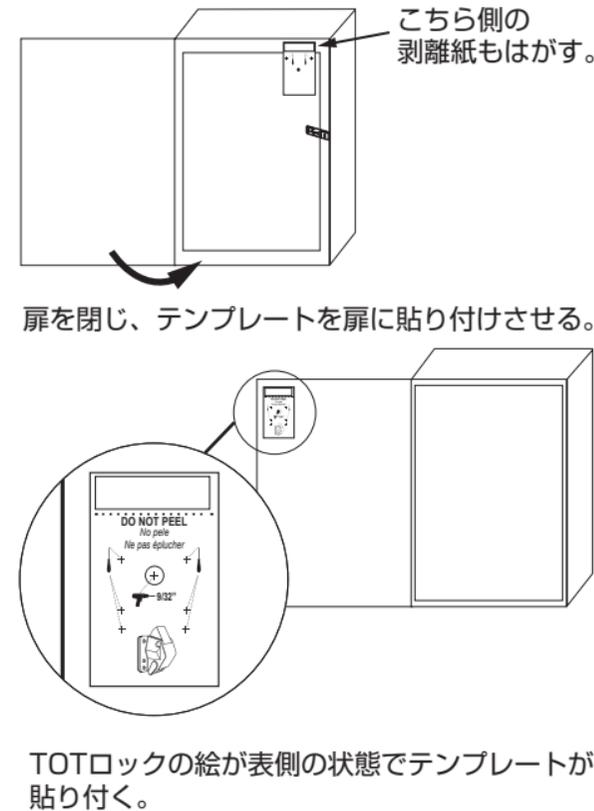
扉厚と延長パーツの要否



【1】受座の位置決め



【2】テンプレートを扉へ



【3】 本体の位置決め

扉を開き ⊕印の4カ所にきりで印をつける。



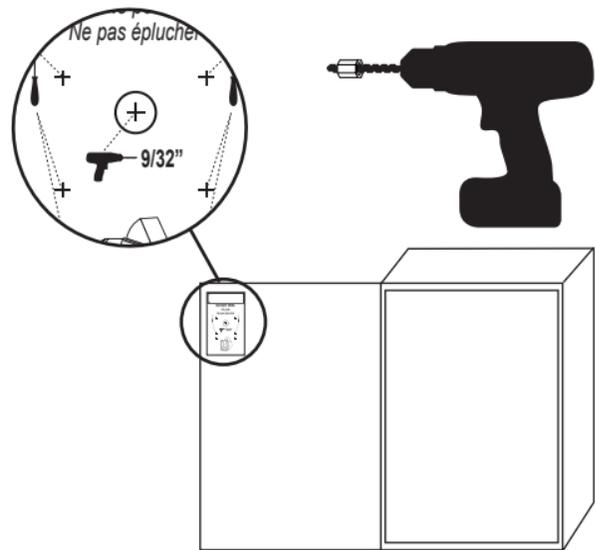
【4】 ドリルの準備



穴深さ \geq 扉厚-3

ドリルの穴深さゲージを所定の位置にセットする。

【5】 扉への穴加工

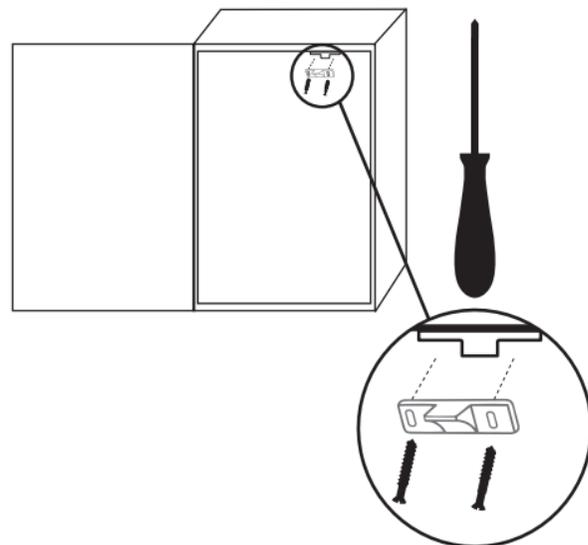


○印の場所に、穴深さゲージに従い7 mmの穴をあける。
穴に切りくずを残さないようにする。

⚠注意

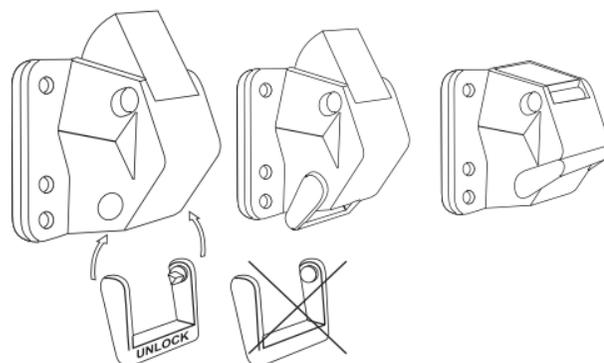
穴は正確に加工してください。加工面の荒れや穴の位置のずれは作動不良の原因になります。

【6】 ストライクプレートの仮止め



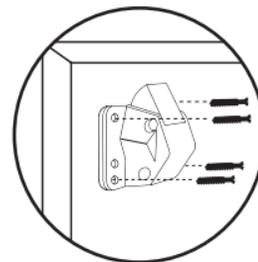
後で調整するため、仮止めしておく。

【7】 解錠機構バーの取付け (オプション)

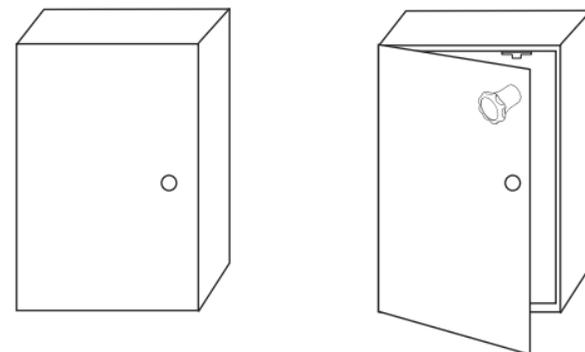


解錠機構バーを取り付けると、レバー操作で解錠状態を維持できます。必ず図の向きで取り付けてください。

扉厚に応じ「扉厚と延長パーツの要否」で示したパーツをTOTロックに組込み、付属ねじで固定する。



【8】 動作確認とストライクプレートの調整



扉を閉じる前に、TOTロックキーを扉にあてて動作を確認する。
扉を閉じて、動作を確認しながらストライクプレートの位置を調整し、固定する。

SUGATSUNE スガツネ工業

お問い合わせ：03(3864)1122
月～金 9:00～ 17:30 (休日・夏期休業等は除く)

2019.12 0053-5